

対策区分	事業
【知る】 ◆ 鳥獣の生息状況や被害の実態を把握するための調査・情報収集	（１）ツキノワグマ生息状況調査〔10,419千円〕 ◆ 効果的な対策につなげるための新たなモニタリング手法の検討（山大と連携） （２）出没情報の即時把握・県民への注意喚起〔1,354千円〕 ◆ アプリを用い市町村と連携して、出没情報を速やかに発信〔748千円〕＜新規＞
【守る】 ◆ 人の日常生活圏への侵入防止	（３）人とクマのすみ分けの推進〔149,487千円〕 ◆ クマの誘因物となる不用果樹伐採への支援〔14,500千円〕 ◆ 藪の刈払い等への支援〔2,250千円〕 ◆ 県管理河川における藪の刈払いの実施〔59,985千円〕 ◆ 林縁部の緩衝帯整備【農林】〔50,000千円〕 ◆ AIカメラ等を活用した誘因源、侵入経路等の把握・分析〔10,700千円〕＜新規＞ ◆ 広葉樹の病害虫被害防除への支援【農林】〔1,125千円〕 （４）クマ対策に係る専門家の派遣〔10,262千円〕 ◆ 市町村・学校・保育施設等を対象にした研修会等の実施〔8,172千円〕 ◆ 市町村向けの緊急銃猟訓練の実施〔2,090千円〕 （５）農作物の被害防止に関する支援〔165,071千円の一部〕 ◆ 電気柵等の設置への補助、ICTわな等の購入への補助【農林】
【捕る】 ◆ 鳥獣の個体数を適正に管理するため、過剰な個体を捕獲し、被害を軽減	（６）市街地出没対応〔38,100千円〕 ◆ クマ撃退用スプレー追加配備、ドローンを用いた搜索等の現場対応力の強化【警察本部】〔2,183千円〕 ◆ 緊急銃猟に係る市町村支援〔35,917千円〕 ①装備品の購入等、出没時の体制構築事業への補助 ②保険料、日当等の捕獲事業への補助 ③市街地出没時のパトロールへの補助＜新規＞ （７）春季捕獲の強化〔10,950千円〕 ◆ 個体数削減や若手ハンター育成のため春季捕獲を強化（主要生息域での銃猟等） （８）麻酔銃取扱者の配置の強化〔2,647千円〕 ◆ 市街地出没時等の対応のため、麻酔銃取扱者を３名に増員 （９）猟友会等への支援〔8,189千円〕 ◆ 捕獲等に必要の物品購入等への補助〔5,910千円〕 ◆ 担い手の確保等に必要の経費への補助〔2,279千円〕
【体制】 ◆ 機動的・広域的に実働できる持続可能な被害防除体制の整備	（１０）市町村と連携した「中間支援組織」の設置の検討〔18,532千円〕 （１１）市町村における捕獲実務者（ガバメントハンター）配置への支援〔13,444千円〕＜新規＞